

がん哲学外来in桃太郎がんメディカルカフェのお知らせ

今回で3回目を迎えるカフェです。患者さんやご家族だけでなく、医療従事者も含む市民が参加者として集い、心の豊かさや人生観、生き方について自由に語り交流する場です。いつでも出入り自由ですし、人数制限もありません。お気軽にご参加ください。

がん哲学外来とは耳慣れない言葉ですが、がん患者とその家族に安心を与えるための医療者との対話の場として順天堂大学医学部病理・腫瘍学講座教授である樋野興夫先生が広められています。今回も引き続き樋野先生を当院にお招きしてがん哲学外来、メディカルカフェを開催します。がん哲学外来は2組限定ですので、事前にご予約ください。(治療や診察等のセカンドオピニオン、通常の外来診察とは異なりますのでご注意ください)

日時:平成26年4月25日(金)

メディカルカフェ:13:30~15:30

がん哲学外来:先着2組

(1組目13:45~2組目14:25~)

場所:岡山大学鹿田キャンパス内

マスカットキューブ3階

対象:がん患者・家族、医療スタッフ、学生、その他関心のある方

参加費:お茶代として100円

お問い合わせ・申し込み先

岡山大学病院総合患者支援センター

TEL 086 (235) 7744

「歯ッスルフェアー2014」 ～ピカピカスマイルdeキラキラライフ♪～

岡山大学病院 歯と口の健康週間
「歯ッスルフェアー 2014」
～ピカピカスマイル de キラキラライフ♪～

日時:平成26年6月5日(木)
13時～16時30分
場所:岡山大学病院 歯科棟 他
参加費無料

☆ 歯科衛生士による体験ブラッシング 14:00～16:00 歯科棟1階 総合診断室(予診室)	☆ 歯科技工士による特殊技工物の展示 13:30～15:00 歯科棟1階 受付ホール
☆ 子供さんへのフッ素塗布 13:00～16:00 歯科棟1階 医療地域支援室	☆ 歯科衛生士による口腔衛生相談 13:30～15:00 歯科棟1階 受付ホール
☆ ミニ公開講座(2題) 歯科棟1階 エデュケーションセンター	☆ ぬり絵コンテスト 締め切り:4月30日(水) 表彰式:6月5日(木)16:00～ 場所:医科外来 受付ホール

13:30～14:00
1.「審美歯科について(仮)」
岡山大学
伊澤 俊二 先生(むし歯科 外来長)

14:00～14:30
2.「歯科矯正治療ってどんなもの?」
岡山大学
菅原 康代 先生(矯正歯科 講師)
♪ チェロとピアノの生演奏
(ボランティアによる生演奏)

15:00～16:00
チェロ演奏 三船文彰 先生
ピアノ演奏 荒木 渉 先生

主催:岡山大学病院
後援:総合患者支援センター
協賛:グラクソ、スエスライン株式会社
ヒューマン・スノー株式会社
ライオン

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1
岡山大学病院
※お問い合わせ先
総合歯科 086-235-9768(三浦)

※このイベント用に駐車券は発券できません。公共の交通機関をご利用ください。

スタンプラリーを行います。
スタンプを集めて景品をもらおう♪

当院では、毎年「歯と口の健康週間」にちなんで、「歯」に関するイベントを開催しています。今年は6月5日(木)13:00～開催いたします。今年のミニ公開講座のテーマは「歯科矯正」と「審美歯科」に関する内容です。それぞれ専門の歯科医師がわかりやすく講演します。チェロとピアノの演奏会は、毎年楽しみに来て下さる方々もおられ、大変盛況な会となっております。スタンプラリーでスタンプを集めると、景品ももらえます。是非多くの方のご参加をお待ちしております。

病院ボランティアさんを募集します

岡山大学病院では、患者さんが安心して、通院・療養生活が過ごせるように、ボランティアさんが活動しています。一緒に活動して下さる仲間を募集しています。



患者図書室
活動時間:毎週月～金曜日
10:00～15:00
本の貸出や、病棟への移動図書を行っています。

子供の遊び相手
活動時間:月に一度、月曜日
14:00～16:00
小児科に入院中のお子さんと、プレイルームで工作や本を読んだりします。

園芸
活動時間:毎月第1、3金曜日
10:00～
入院棟の裏に、お庭を作っています。四季折々のお花の手入れをしています。

外来案内
活動時間:毎週月～金曜日
午前中
診察室や検査室へのご案内、外来受付の説明を行っています。

募集期間:平成26年4月～5月末
(年2回春秋に募集)
*16歳以上で、一定期間の活動が可能なお方をお願いしています。
*詳細は、下記にお問い合わせ下さい。
総合患者支援センター
TEL 086-235-7744



総合患者支援センターニュース

〒700-8558
岡山市北区鹿田町2丁目5番1号
岡山大学病院
総合患者支援センター
☎086-223-7151(代表)
☎086-235-7744(直通)

Integrated Support Center for Patients and Self-learning
Okayama University Hospital

センターの活動に関してはホームページ
(<http://www.cc.okayama-u.ac.jp/>)
をご覧ください。

今年の抱負

岡山大学病院総合患者支援センター長
岡山大学病院長 樋野 博史

日頃から岡山大学病院総合患者支援センターの運営にご協力いただき、御礼申し上げます。「私たちは患者様に最良の医療とケアを提供するために活動します」を合言葉として、平成15年4月に産声をあげたセンターも昨年10周年を迎え、さらに新たな一歩を踏み出しました。昨年11月に設立10周年記念講演会、10周年記念誌の発行といった10周年記念企画を終えることができましたのも、これまでご支援を賜りました地域の関係者の皆様、センタースタッフと関連する職員の皆様、一般ならびに職能ボランティアの方々皆様のお力添えによるものであり、この場をかりて厚く御礼申し上げます。



本院の基本理念は「高度な医療をやさしく提供し、すぐれた医療人を育てる」であり、「あなたのそばに先進医療」をモットーに掲げております。昨年本院では総合診療棟がオープンし、IVRセンターの設置、ハイブリッド手術室を含む20室の手術室の完成など、最後の砦病院として体制を整えて安全・安心な医療を提供しております。それに加え、医療及び看護の質を高め、患者様を惹きつけて離さない、また、全医療スタッフが誇りと希望を持てる働きやすい環境にして職員を惹きつけて離さない病院と いう意味で「マグネットホスピタル」を目指すと同時に、医療の中で温かい人間関係を育み、安らぎを与える、“Artful & Heartful”な病院環境も目指しております。

我々センター職員もこれらの理念・モットー・“Artful & Heartful”な病院環境を常に意識し、患者様の目線に立った地域に根ざした医療を提供することを心がけています。遅れていました地域医療連携部門の体制もインターネットによるオンライン予約の整備、岡山大学病院のカルテ参照がおこなえる システムの導入・運用など、ITの活用により地域医療連携システムが強化されつつあります。これらのシステムは患者支援部門の柱である退院支援・退院調整の強化にも繋がるかと思えます。今後も変貌を続けると思われる日本の医療体制に対応し、患者様に最良の医療とケアを提供し続けるために、温かい心と知識と技術に裏打ちされた支援の手を表現したセンターのロゴマークに込められた理念や思いを忘れることなく、センターの更なる充実と飛躍を目指し、より一層頑張っ参りたいと思えます。

今後とも皆様方のご指導とご支援を何卒宜しくお願い申し上げます。



総合患者支援センター10周年企画



総合患者支援センターはおかげさまで10周年を迎えることができました。これを記念して様々なイベントを開催しました。10年を振り返ってのご挨拶と、10周年記念行事・記念誌について報告させていただきます。

総合患者支援センター10周年記念事業を終えて

総合患者支援センター 前センター長、現顧問 公文裕巳

新しい時代の病院にふさわしく、患者の皆様の目線で考え行動する優しい組織の構築というセンター構想は、新病棟計画（旧南病棟）に合わせて平成10年からスタートし、平成15年4月1日に専任スタッフ2名（MSWと看護師長各1名）とボランティアの皆さまとともに実現しました。今回、この10年間の出来事のひとつひとつを懐かしく振り返りながら、「総合患者支援センターのあゆみ」と題して講演をさせていただきました。当日は、設立時の主要メンバーであった川田先生（岡山大学名誉教授）の特別講演、モデル事業であるオスメイト支援チームの当初からのメンバーである看護師の奥野さん、ボランティアの中谷さんのお話にあらためて感動するとともに、苦労を共にしてきたMSWの石橋さん、そして第二代副センター長岡田先生（現香川医大教授）をはじめとする多くの方々との温かい交流の時間を過ごすことができました。支援センターのロゴマークに示す「温かい支援の心（O:Okayama）と差し伸べる手と技術（U:University）」と“Integrated Support Center for Patients and Self-learning (ISCPS)”のもと、人に優しいボランティアの方々の真心と情熱のエネルギーに支えられ、次の10年に向けてセンターが益々発展していくことを祈念しています。

総合患者支援センター10周年記念講演会報告

平成25年11月16日（土）、当院マスカットキューブにおいて総合患者支援センター10周年記念講演会を開催しました。会場には、これまでセンターの活動を支援して下さった方や地域の医療福祉関係者の方々、そしていつもお世話になっている病院ボランティアの方々など約100名が集っていただきました。



最初に、前センター長の公文裕巳顧問から「総合患者支援センターのあゆみ」と題して、センター設立の経緯と10年間の活動を報告させていただきました。センターがスタッフだけではなく、その時々に関わって下さった方々の働きに支えられ、これまで成長できたことを改めて実感し、感謝の気持ちがあふれました。

活動報告では、専門チーム活動の一つであるオスメイト支援チームの奥野信枝さんと中谷昌子さんが「患者支援の取り組み～オスメイト支援チームより～」という題で、10年間の地道な活動を報告しました。

そして、特別講演には、センター設立にご尽力いただきました和歌山県立医科大学大学院特任教授・岡山大学名誉教授川田知恵子先生をお招きし、「患者中心の地域医療福祉を求めて」というテーマでお話いただきました。総合患者支援センターの“支援”には一般的な相談支援と患者の自己学習支援という2つの意味が含まれています。患者学習支援を活動の柱に取り入れたのは、10年前としては先進的な取り組みであったと言えますが、これには川田先生の存在が大きく影響していました。今回、川田先生のお話を伺い、改めてセンター設立の“思い”に立ち返ることができたように思います。

10年間センターの活動を支え、あたたかく見守ってくださった皆様に、改めて感謝申し上げます。今後ともよろしくご指導のほどお願いいたします。

総合患者支援センター設立10周年に寄せて

前川珠木看護部長

冒頭から私事で恐縮ですが、先日、ある病院で療養中の友人を見舞う機会を得ました。手術を終えたばかりであるにも関わらず、自宅での生活をどのように組み立て直そうかと不安を口にする友人を前にし、今更ながら退院支援の重要性を実感しました。

ご存じのように、総合患者支援センターの役割の大きな柱の一つは「退院支援」です。退院支援は、患者さんとそのご家族を身体面、心理面、社会面からとらえ、退院後の生活を整えていく一連のプロセスです。

センターは退院支援を必要とする患者さんの中でも、とりわけ複雑な調整を必要とする方々の支援において、その専門的知識と経験を活かしたリーダー的な役割を担ってきました。加えてセンター職員が病棟チームを教育的に支援することで、病棟チームにも変化と成長がみられるようになってきています。

医療や介護を巡る状況はますます厳しい時代に入ってきていますが、この10年で培ってきた地域の方々とのネットワークを財産とし、センターのリードのもと、病院全体で質の高い退院支援を提供することが重要であると考えています。

総合患者支援センター10周年記念懇親会報告

10周年記念講演会の後、院内記念会館において懇親会を開催しました。特別講演の講師川田知恵子先生にもご出席いただき、地域の医療機関関係者の方や病院ボランティアの方を含め約50名のご参加をいただきました。前統括副



センター長の太田吉夫先生、2代目副センター長の岡田宏基先生は香川から、センター設立時に医事課長としてご尽力いただいた山村滋さんは愛媛から駆けつけてくださり、久しぶりの再会に話が弾みました。

懇親会では、ご出席いただいた方々からご挨拶をいただいたり、10年間のセンターの写真を綴ったスライドショーを見ながら当時の思い出を皆様に語っていただいたり、終始和やかな雰囲気が進みました。

公文裕巳前センター長とコアスタッフ3名で旧西病棟の1階に、机1台、本1冊から始まったセンターが、徐々に人も設備も充実してきた年月を振り返り、大変感慨深いものがありました。ただ、この場に初代副センター長の故下村宏之先生がおられないのが本当に残念でした。



ご出席いただいた方々のあたたかい励ましに触れ、楽しいひとときを持つことができましたが、新たな10年にどのような歴史を刻むことができるのか、スタッフには気の引き締まる思いも感じた会となりました。

総合患者支援センター10周年記念誌発行

総合患者支援センター10周年に際し、患者支援部門・地域医療連携部門の活動報告・今後の課題をまとめ、今後の発展に役立てたいという思いで、総合患者支援センター10周年記念誌を発行し、関係機関に配布しました。発行にあたり、この10年間で関わって頂いた先生方や連携医療機関など、院内外の方々からも寄稿文等を頂きました。



岡山県がん診療連携拠点病院公開講座について

平成26年1月19日(日)、一般市民へのがん医療に関わる情報提供と岡山県がん診療連携拠点病院とのがん相談支援センターの役割を広報していくことを目的として、今回で7回目となる公開講座が岡山コンベンションセンターにて開催しました。

「がんと診断された時からの緩和ケア」をテーマに、岡山大学病院緩和支援医療科診療科長の松岡順治先生による基調講演があり、また様々な立場で緩和ケアを提供されている医師、地域の訪問看護師によるシンポジウムも行いました。会場には200名を超える参加者の方が熱心に耳を傾けておられる姿があり、緩和ケアへの関心や期待が多く寄せられていることを実感しました。また、「緩和ケアについて理解できた」「本人や家族の思いを尊重する話が聞けて良かった」というご意見もいただきました。本講座をきっかけに、がんの診断時からの緩和ケアの必要性や理解を深める機会になったのではないかと思います。



健康市民おかやま21普及啓発イベントに参加しました

がん相談支援センターをご存じですか？

患者さんやご家族あるいは地域の方々からがんに関する相談をお受けする窓口で、県内のがん診療連携拠点病院・推進病院に設置され、当院にも総合患者支援センター内に窓口が設けられています。そのような相談の窓口を県民の皆様へ周知するために、岡山県内のがん診療連携拠点病院・がん診療連携推進病院の



がん相談員が、平成26年2月16日に岡山コンベンションセンターにて開催された「健康市民おかやま21普及啓発イベント」に参加し、PR活動を行いました。当日はパネル展示やリーフレットの配布、がんに関するアンケートを行いました。イベントの参加者は健康に関心の高い方が多く、アンケートにも熱心にご回答いただきました。がんに関するご相談がありましたら、がん相談支援センターをご活用ください。

岡山県認知症疾患医療センター市民公開講座について

平成26年3月1日(土)、認知症疾患医療に関する情報や認知症疾患医療センターの役割を広く市民に知っていただくことを目的として、岡山大学病院Jホールにおいて岡山大学病院主催の市民公開講座が初めて開催されました。

「認知症を知ろう～正しい知識で早期発見・早期治療」をテーマに、岡山大学病院精神科神経科副科長の寺田整司先生・神経内科助教の倉田智子先生・江角薬剤師による講演がありました。幅広い年代からたくさんの方にご参加いただき、認知症への関心の高さがうかがえました。予防や検査に関するご質問や活発なご意見が多く寄せられ、予定していた時間では足りないほどでした。「とても勉強になりました。」「参加してよかった。」というご意見もいただきました。ひとりひとりが認知症への理解を深め、考える機会になったのではないかと思います。



～平成25年度ボランティア感謝状贈呈式・懇親会～

平成25年12月12日(木)に、活動時間200時間以上のボランティアの方に、感謝状の贈呈を行いました。対象者は14名で、贈呈式には3名の方が出席されました。感謝状贈呈式終了後、保科副病院長(当時)出席のもと、軽食を囲んで、ボランティアの方との懇親会を行いました。平成25年度は総合患者支援センター10周年ということもあり、ボランティアの各活動グループの10年の振り返りも語って頂きました。また、ボランティアの有志の方より、しの笛の演奏も披露され、終始和やかな雰囲気ですべてのことが出来ました。



ボランティア研修会で、インフルエンザとノロウイルスについて学びました (平成26年3月20日)

当院では、外来案内や患者図書室、小児科病棟、園芸など、ボランティアの方が活動しています。ボランティアの方々は、毎年3回のボランティア研修を受けています。今回は「インフルエンザとノロウイルスの予防」というテーマで、感染管理担当の渡邊看護師長に講義していただきました。毎年、話題になるパンデミック(世界流行)やワクチンなどの感染対策、ホームケアなどを学びました。ボランティアの方々は、患者様と接する機会も多く、自身の自己管理が、日々の活動には不可欠であることを学ばれたと思います。講義後は、各活動グループに分かれ、活動振り返りと次年度に向けての意見交換を行いました。



「ピアサポーター」って知っていますか？

ピア(Peer)とは「仲間」、サポーターとは「支え合う人」という意味です。ピアサポートとは「体験を共有し、ともに考える」ことです。総合患者支援センターでは、平成16年より数年かけて、病院ボランティア養成の一貫として院内ピアサポーター活動について、オストメイトボランティアの方・病院職員・教員などと検討を行い、院内ガイドラインの作成をしました。その後、オストメイト(人工肛門・人工膀胱増設者)・乳がん体験者の院内ピアサポーター養成研修などに取り組んでおり、現在、研修を受けたオストメイト、乳がん体験者がピアサポーターとして活動を行っています。日々の生活で困っている事や不安な事、病気などの心配事などをピアサポーターと話しをすることで、精神的負担が軽減されることがあります。ピアサポーターと会って話しを聞いてみたいと思われたら、下記にご連絡ください。

<ピアサポーター問い合わせ>

○ 乳がんの方は ○
乳がん治療・再建センター
TEL：086-235-7254
受付：平日午後1時～5時

○ オストメイトの方は ○
総合患者支援センター
TEL：086-235-7744
受付：平日午前9時～午後5時

